

事務事業名		浄化槽設置整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input checked="" type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	0:2: 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 平成元 年度 ~ 平成22 年度 全体計画欄の総投入量を記入		予算科目				
	施策名	0:5: 環境の保全と共生				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	0:2: 港湾・河川環境の保全				01	04	01	03	08
根拠法令		大船渡市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱		事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 生活排水による公共用水域の汚濁を防止し、生活環境の向上を図るため、住宅及び併用住宅に処理対象人員10人以下の浄化槽を設置しようとするもの(公共下水道認可区域及び漁業集落排水事業承認区域を除く)に対して、補助金を交付する。 (補助金の額:5人槽352,000円、6~7人槽441,000円、8~10人槽588,000円) 事業の流れとしては、浄化槽を設置しようとするものからの補助金交付申請書提出 申請書が適切であれば補助金交付決定通知 浄化槽据付時の三者立会 工事完了後、一ヶ月以内に実績報告書提出 現場確認(完了検査)及び書類審査 適切に完了したと認められれば補助金交付確定通知 補助金振込 となる。 事業費は、浄化槽設置の補助金として支出される。						
所属	部課名	都市整備部下水道事業所								
	係名	普及係	電話 0192-27-3111 内線 202							
全体計画(期間限定複数年度のみ)		総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 430,914 都道府県支出金 416,446 地方債 その他 一般財源 432,541 事業費計(A) 1,279,901 人件費 正規職員従事人数 22 延べ業務時間 9,900 人件費計(B) 39,600 トータルコスト(A)+(B) 1,319,501								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 浄化槽を設置しようとする者からの補助基金交付申請に基づき、補助金を交付した。実績基数76基。(5人槽:19基、7人槽:57基、10人槽:0基)		名称 ア 補助金交付対象基数 基	
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 20年度と同様の形で補助事業を実施するが、昨年的大幅な設置基数の減少を考慮した上で、今年度の予定基数を83基に設定。		イ ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・住宅及び併用住宅に処理対象人員10人以下の浄化槽を設置しようとするもの。 ・河川や海域などの公共用水域。		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 カ 補助金申請者数 人	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・対象者に補助金を交付し、浄化槽設置に係る経費負担を軽減することにより、浄化槽設置の一層の促進を図る。 ・生活排水による負荷を軽減する。		ク 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 サ 補助金交付基数 基	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 港湾・河川への環境負荷を軽減し、公共用水域の水質を保全する。		シ 累計補助金交付基数 基 ス	

(2) 総事業費・指標等の推移										
		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(目標)	22年度(目標)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円	17,949	17,949	17,949	4,097	14,892	14,892	
		都道府県支出金	千円	15,092	16,790	11,170	14,892	14,892		
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	12,235	16,016	4,393	25,687	14,892	14,892	
	事業費計(A)		千円	45,276	50,755	33,512	44,676	44,676	44,676	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	460	460	420	440	440	440	440
		人件費計(B)	千円	1,840	1,840	1,680	1,760	1,760	1,760	1,760
		トータルコスト(A)+(B)		千円	47,116	52,595	35,192	46,436	46,436	46,436
活動指標		ア	基	106	116	76	76	83	103	
対象指標		カ	人	106	116	76	76	83	103	
成果指標		サ	基	106	116	76	76	83	103	
		シ	基	1,787	1,903	1,979	2,055	2,138	2,288	
		ス								

事務事業ID	0073	事務事業名	浄化槽設置整備事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 昭和62年に、国で浄化槽補助制度が設けられたのを契機に、浄化槽の設置を促進するため、当該事業を導入した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 事業開始当初は、申請基数が少なかったものの、事業が定着するにつれ、申請者が増えてきており、現状の補助金交付基数に至っている。ただし、近年では公共下水道認可区域や漁業集落排水承認区域の拡大等の影響を受け、申請件数が減少傾向にある。 また、国では最近、市町村が実施主体となって浄化槽を設置する「浄化槽市町村整備推進事業」や、特別目的会社(SPC)によって浄化槽を設置させた後に市町村で管理する「PFI事業」を進めてきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 公民館等の公共施設に準ずる施設を補助金交付の対象とできないかとの要望が寄せられているが、住宅・併用住宅に該当しないことと、生活排水の発生頻度が少ないこと、国の補助制度上公民館等の建物に補助金を支出できない等の理由により、対応を見送っている。 補助金額の増額(市負担部分のかさ上げ)要望	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘ 浄化槽の設置促進により生活排水が適正に処理され、快適な環境の創出が図られる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘ 共用水域の水質浄化対策を進めるためには、下水道認可区域及び漁業集落排水事業承認区域以外への浄化槽設置を進めることにより、汚水処理施設整備率の向上に努めなければならない。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ 生活排水の適正処理を推進するためには、大型浄化槽による大規模処理の有効性も無視することは出来ないが、現時点では大型浄化槽を必要とする集合住宅及び事業所からの要望も特になく、現状で適正と考える。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘ 公共用水域の水質改善のためには浄化槽のみならず、下水道、漁業集落排水も含めた検討をする必要があり、これらの認可・承認区域が拡大されるのに反比例して、浄化槽の補助対象地域は縮小されていくため、現状以上の補助申請数の増加は見込めない。但し、浄化槽においては、集合住宅等の大型浄化槽への対応により、さらに成果を向上させる余地はある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘ 下水道、漁業集落排水事業との連携等も含めて検討する必要があるが、これらの実施区域以外に生活排水対策として進めることができるのは浄化槽補助のみであるため、浄化槽補助を廃止・休止した場合の影響は大きい。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] ↘ 下水道、漁業集落排水事業の整備には地域的制約があるため、目的達成には本事業以外ない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↘
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 浄化槽の人槽規模により補助金額を定めているため、削減した場合、設置基数に影響を及ぼす。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 補助金交付に伴う事務であるため、外部委託は出来ない。また、現状でも担当者が現場確認まで含めた事務を一人で行っているため、人員や業務時間の削減はできない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘ 国、市の要綱により補助金額を定めているため、適正化の余地がない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>事業の目的妥当性、有効性、効率性については、公共下水道認可区域及び漁業集落排水事業承認区域以外における生活排水対策が浄化槽設置整備事業以外に、適切であったと考える。また、公平性については、例年同様に予算の範囲内の申請であったため、公平性を損なうことはなかった。しかし、申請基数については、予算枠全体の7割しか消化できなかったため、今後の計画及び予算については大いに検討しなくてはならない状況である。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>平成20年度の申請状況は76基と前年度と同等の水準であった。公共下水道の認可区域が広がり、補助対象地域が縮小になったことも考慮して、来年度の設置目標を当初予定より20基減の83基に設定した。来年度以降の計画及び予算についても、申請の状況や公共下水道事業の進捗状況を考慮しつつ、慎重に判断していかなくてはならない。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	下水道事業所長	
-------	---------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>事業の目的妥当性、有効性、効率性については、下水道事業認可区域及び漁業集落排水事業認可区域外での生活排水対策は、今後集合住宅等への補助を拡大する検討も必要。</p> <p>公平性については、今年も例年同様、予算内での申請件数であったため、公平性を損なうことはなかった。申請件数76基。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>今後補助対象外の集合住宅への補助を拡大する検討も必要。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
